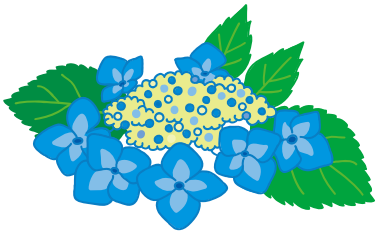
静岡大学教職員組合

静岡大学教職員組合
静岡：内線 2790
suu@jade.dti.ne.jp
浜松：内線 3910
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp
組合 HP：
http://shizudai-union.net/

不 二 速 報



発行日　2021 年 6 月 28 日
第２号　2021 年度執行部紹介【全教職員配布】

2021 年度 組合執行委員です！

より良い職場環境の実現のために頑張ります。一年間よろしくお願い致します。

副執行委員長　早川　邦夫（工学部支部）

今年度副執行委員長（兼 支部委員）を担当させていただく事になりました工学部機械工学科の早川です。

工学部支部では，2016 年に支部長を経験しました。当時はなんとか活動を盛り上げて行きたいと思っていましたが、大きな成果は得られていなかった思いがあります。今回の副執行委員長ということで、浜松キャンパスと静岡キャンパスの橋渡しの役割もありそうですので，力不足ではありますが努力していきたいと思っています。皆様のお力添えのほどよろしくお願いいたします。

今年度も、新型コロナウィルス感染症対の影響がまだ続くとは思いますが、感染対策の徹底の上、組合の活動度をなんとか上げていければと考えています。

１年間どうぞよろしくお願いいたします。

藤森照信　作　：　「空飛ぶ泥舟」に乗船

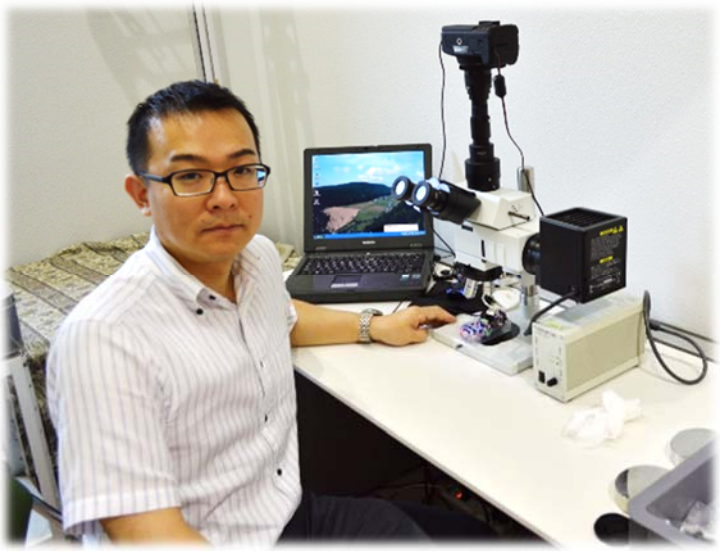
事務局長　板倉　美奈子（人文社会科学部支部）

今年度事務局長を担当させていただきます板倉です。融合グローバル領域、未来社会デザイン機構サステナビリティセンター法実務部門に所属しています。組合では人文社会科学部支部の所属ということになります。

15 年ほど前に１年だけ執行委員を、そして３年ほど前に人文社会科学部支部の支部長をしていたことはあるのですが、これまで組合活動に積極的であったとは言えません。また学部での担当を持たないマイナー部局所属ということもあり、学内事情に精通しているとは言い難いのですが、マイナー部局にいるからこそ見えてくる問題もあると思いますので、見えにくい問題の＜見える化＞に取り組んでいきつつ、執行委員長はじめ執行委員のみなさんとともに、私たちの職場である静岡大学をよりよくしていくために微力ながら尽くしていきたいと考えています。

１年間、よろしくお願いします。

執行委員　山岡　拓也（人文社会科学部支部）



私は人文社会科学部の社会学科の歴史学・考古学コースで考古学を教えています。先史考古学が専門で、とくにホモ・サピエンス（我々と同じ現生人類）が最初に旧世界に拡散した時期（3～5 万年前）に興味を持ち、誕生に立ち返って人間らしさとは何かについて知るために、当時の人々の技術や行動について研究しています。静岡大学には 2013 年 4 月に着任し、そのときに教職員組合に加入しました。これまでに人文社会科学部支部の支部委員を一度やらせていただいたことがありましたが、執行委員をやらせていただくのは今回が初めてです。

2013 年 3 月まで助教として働いていた首都大学東京（現在は東京都立大学）でも教職員組合に入っており、そのときも支部委員を何度かやらせていただきました。首都大学東京の組合活動では、普段直接お会いすることのない大学の他の部署で働いてらっしゃった方々と接する機会が得られ、大学全体の仕組みを知る機会にもなりました。組合の役員をすることで、大学内に知り合いが増え、普段働いている中では見えない大学の様子が見えてくるように思うので、今回もそうした機会にしたいと考えています。また、現在、大学が大きく変わる時期にあり、人もお金も減っていき、同時に、教育のあり方や地域との関わり方など大学の役割も見直されています。そうした中で、大学で教職員が働く上での様々な問題が生じているように思います。教職員組合では、これまでにも様々な問題の解決に向けた取り組みが行われ、大学の中で重要な役割を果たしてきたのだと思いますが、こうした状況の中で、教職員組合をさらに活用する方法があるのではないかと感じています。今年度、執行委員をやらせていただく中で、教職員それぞれがストレスを感じることなく働きやすい職場にしていくために、大学で働く多くの構成員が問題を共有し、知恵を出し合い、問題の解決へ向けて協力していくような仕組みを作る（再構築する）よう取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

執行委員　横田　宏樹（人文社会科学部支部）

今年度、初めて執行委員を務めることになりました人文社会科学部（経済学科）の横田宏樹です。専門は、現代産業論・企業論ですが、近年は地域を分析単位におき、家具産地を中心に地場産業について研究しています。

専門的な観点からもそうですが、フランスに留学していた際に、組織や社会における組合の役割や重要性、その移り変わりについて身近に感じとることが出来ました。また、私は教員として静岡大学に任用されたのは 2018 年からですが、1997 年から 4 年間は学生としても過ごしました。母校である静岡大学で働けることに誇りと情熱を持っています。

内外からの環境的変化の要請に直面している静岡大学が、そこで働くすべての人々にとってより良い方向へと進んでいくために、一人の教員としてだけでなく、組合という組織的な視点からも、理想の姿を追っていきたいと思います。

1 年間、どうぞよろしくお願い致します。

執行委員　西野　　肇（教育学部支部）

今年度教育学部の執行委員を務めさせて頂きます。西野肇と申します。学部では社会科教育に所属し、経済学を担当しています。経済学の中でも専門としているのは近現代の日本経済史・経営史です。また、学生時代ずっとサッカーをやってきたこともあって、2014 年度からサッカー部の顧問をしています。今回、執行委員を務めるの 2008 年度以来ですから 13 年ぶりになります。長い間家庭の事情等を理由に役員選挙に立候補し続けなかったことを申し訳なく思います。

当時の思い出のひとつに、現在では見ることがなくなってしまったようですが、組合の立て看書きがあります。図書館下の石垣のところに設置してある看板を作業ができる場所まで移動し、古い紙をはがし、新しい紙を貼り、それらしい、いかにもな書体で文言を一字ずつ書いていきました。慣れない作業のため服を絵の具で汚してしまい，着替えを持ってくれば良かったと後悔したことをよく覚えています。

さて、この間に組合を取り巻く環境は大小様々な変化を遂げており、また直面する課題も山積しているように思います。このような中ではありますが、皆さんの雇用・労働条件の向上に少しでもお役に立てればと思っております。

1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

執行委員　増田　健二（理学部支部）

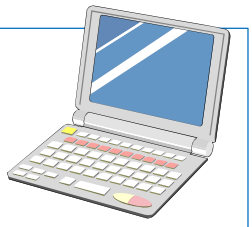
今年度、執行委員を務めることになりました技術部の増田です。組合員歴は 40 年目となりますが、執行委員（副執行委員長）はおそらく 6 回目となります。主に技術職員の待遇改善の運動をしてきました。主な組合の業績としては、全大教の技術職員部の一員として文部省に要望して、技術専門職制度（文部省訓令第 33 号、1997.11.17）が制定されました。静岡大学においては、2004 年の国立大学法人化に伴い学内規則（2004.9.15）を定め、技術専門員選考のための技術部長会議の設置し、公平な人事が行われることを要望しました。40 歳代後半から 50 歳代前半で長年にわたり現給保障（40 代の給与のまま）となっている現状を改善するため、給与引き下げ（8%）の代替措置として定められた高専機構の技術専門職員の昇格基準まで引き下げを行うことを要求して、これまで 3 級在職 16 年と 53 才にならないと 4 級に昇格できませんでしたが、（2012 年度、第 1 回団体交渉 2012.5.17）で要求したことによって、技術専門職歴 13 年と昇格基準が改善され、46 才で 4 級に昇格できるようになりました。また、若手（30 代）の低給与水準を改善するため、技術専門職員の推薦基準（2 級 33 号給以上）は、平成 10 年に定めた基準を振替えたものであるため、現在の年齢と号給に合わせた（昇級号俸が標準 4 号俸から 3 号俸に切り下げられた実態に見合った 2 級 28 号給以上）と見直すことができました。2012 年 4 月 1 日に発足した全学技術部に際しては、「技術部組織等のあり方について（2010.2）」を碓氷理事（初代技術部長）に提案して、教育・研究支援のための全学技術部の設置を要望しました。

昨年度、定年退職して再雇用職員となりましたが、これまでの組合活動の経験も活かして、執行委員の皆様と共に、頑張って努めたいと考えております。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

組合ＨＰが新しくなりました！

https://shizudai-union.net/

パソコンでもスマートフォンでも見やすくなりました。
過去の不二速報や団体交渉の記録なども見ることができます。
ぜひアクセスしてみてください！！



静岡大学教職員組合　検索

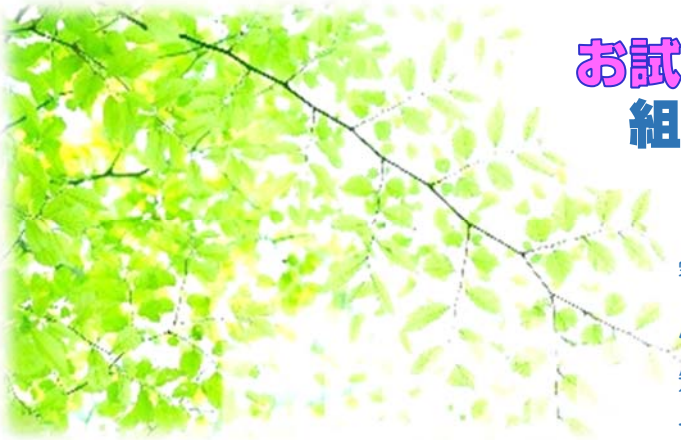
執行委員　袴田　麻里（工学部支部）

執行委員を務めることになりました、国際連携推進機構の袴田です。新型コロナウィルス感染拡大がおさまらないままですが、教職員にとって働きやすい職場は、学生にとって勉強しやすい、研究しやすい環境であろうと思います。戦力になれるか甚だ不安ではありますが、勉強しながら務めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

執行委員　祝原　豊（教育学部支部）

今回執行委員を務めさせて頂きます「いわいはら」です。教育学部では保健体育に所属し子どもの体力に関する授業を担当し、地域創造学還ではスポーツプロモーションコースにて中高齢者の健康や体力についての授業と研究をしております。体育系ということからスポーツは何でもできそうと思われがちですがそんなことはないです。ただ、バスケットボールは今も趣味としてプレーしており、大学では顧問をしながら学生から活力を分けてもらっています。

大学を取り巻く情勢は厳しくなると予想されますが、それだけに大学の顔となる教職員が快く働くことのできる環境の充実が重要と考えます。勤務条件・賃金などの課題が山積ですが、先輩方の知や経験、そして若手のパワーを受けつつ、働きやすい職場環境を整えられるように、力を合わせ頑張りたいと思います。



お試し加入で
組合を体験してみませんか？！

「組合はちょっと敷居が高いから…」とか「活動内容がよくわからないし…」など心配されている皆さんに、まずは「お気軽に組合を体験して」、「組合を知っていただこう」と、**「お試し加入制度」**を実施しています。

お試し加入期間中は、組合費無料。定期大会等での議決権と役員選挙の投票権以外は、一般の組合員と同じサービスが受けられます。<いち早い情報提供、職場等での困りごとや改善要求などの相談、それについての大学側との交渉、顧問弁護士への相談、ローンの保証料０円のろうきん利用など>

お試し加入のお申し込みは、組合事務局までお問い合わせください。

組合 HP の「お試し加入フォーム」からのお申し込みがかんたん安心です！